

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
花車ビル南館 〒450-0002
電話 052-581-1013
FAX 052-586-5680
ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
普通口座731-677
発行人 梶山広美
編集人 山田 真

No.389 目次

- ◆平成26年度中部圏支部支部内連絡会議報告…(2)
- ◆平成26年度定時総会開催報告 ……(3)
- ◆平成26年度新人サポート研修会報告 …(4)
- ◆第37回愛臨技スポーツ大会開催のお知らせ ……(5)
- ◆地区だより……………(6)
- ◆東海地区分析研究会講演会……………(6)
- ◆第51回愛知県糖尿病療養指導研究会
学術講演会……………(7)
- ◆基礎講座……………(7)
- ◆研究会……………(9)
- ◆平成26・27年度
公益社団法人愛知県臨床検査技師会役員…(10)

平成26年度愛臨技総務部門の取り組み

総務部門担当副会長 藤田 孝

総務部門は、庶務部と会計部から構成されており、理事会で承認され、総会で報告された年度内事業のなかの主に管理業務を中心に事業遂行しております。

総務部門は庶務部と会計部から構成されております。庶務部の毎年の業務として、会員および会員施設の掌握、文書管理、総会開催に関する準備、理事会等会議の準備と議事録管理、表彰関係業務などを行っております。会計部の毎年の業務としては、公認会計士の指導を受けながら、各部や地区の会計処理、予算書類や決算書類の作成・管理をおこなっております。

さて、当会は平成25年4月に公益社団法人として認定を受けてから1年が経過しました。公益社団法人として1事業年度を過ごしたこととなり、事業報告、決算報告を平成26年度定時総会で会員の皆様にご審議、ご承認いただきました。すべての議案についてご承認いただきましたので、初めての事業年度を無事に終えたということになりますが、会員のみなさまに安心して活動していただくためには、当会における規定や内規、マニュアル類を整備・充実する必要があります。平成25年度も多くの規定類を整備いたしました。平成26年度も引き続き、規定類の整備を行うこととなります。また、会計面では、定時総会の決算報告で森田会計部長からも報告がありましたように、遊休財産額が限度額を超過してしまい、公益法人として不適合という判定をいただく結果となってしまいました。不適合＝公益認定取り消しとはなりません。この遊休財産対策は今年度是正しなければならない大きな課題となっており、総務部門が中心となり、会を挙げて取り組んで参ります。

公益社団法人としての基盤を確立するための1年と位置付けていた平成25年度が終わり、今年度は更に発展して行くための重要な年となります。定時総会でご報告させていただいた事業計画を役員一同しっかりと取り組んで参りますので、今後とも会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

平成26年度 中部圏支部 支部内連絡会議報告

幹事 梶山 広美

去る6月21日(土)名駅ABCビル(名古屋市)にて、平成26年度第1回中部圏支部の連絡会議が開催され、各県幹事と中部圏支部学術部門長が出席しました。ここで、支部学術部門についてご説明します。平成26年度より、学術研究班は学術部門に変更となり、各県より学術経験豊かな部門員が選任され、部門員の互選により部門長が1名任命されます。日本臨床衛生検査技師会(以下日臨技)の学術組織の目的は、「職能団体として学術活動を推進し、専門性の維持・向上を図り、もって公益に資すること」です。この目的を達成するため、下記の9部門が各支部に設置されました。各部門では、学術・研修事業を実施するほか、都道府県技師会と日臨技との学術連携を行います。今年度は、新しい体制で始まりますので、研修会の企画はこれからになりますが、正式に決まり次第ご案内できると思います。

さて、本会議では、日臨技報告、各県技師会学会報告、支部運営の説明等がありました。日臨技報告では、認定センターの動向、現場に即した内容で作成され技術教本シリーズの発刊について、都道府県で開催する全国「検査と健康展」の実施要綱の説明がありました。当会もこの企画を立案し11月に全国「検査と健康展」を実施する予定です。また、今通常国会で「臨床検査技師法等に関する法律の一部改正」が成立し、臨床検査技師が診療の補助として、採血に加え検体採取ができることになった経緯と今後どのように臨床検査技師に対する追加研修を行っていくか説明がありました。

最後に、日臨技と各都道府県技師会が連携するためには、支部の役割も大きく、中部6県の代表である幹事や学術部門員の方々との情報交換や情報の共有化も大切になります。会員の皆様からも、支部に関するご意見ご要望がありましたら、愛臨技事務所までご連絡ください。今後とも日臨技事業にご理解とご協力をよろしくお願いします。

〈日臨技学術部門〉

① 生物化学分析部門

生化学的検査、尿・髄液定量検査、免疫・血清学的検査、毒物・薬物検査等に関する学術的事業

② 臨床一般部門

尿定性・半定検査、尿沈査検査、髄液検査、体腔液検査、関節液検査、糞便検査、寄生虫検査等に関する学術的事業

③ 臨床血液部門

血球算定検査、血液機能検査、血液形態検査、凝固・線溶検査等に関する学術的事業

④ 臨床微生物部門

臨床微生物学的検査、感染制御等に関する学術的事業

⑤ 輸血細胞治療部門

輸血検査、幹細胞治療、輸血製剤管理等に関する学術的事業

⑥ 病理細胞部門

病理組織検査、細胞診検査等に関する学術的事業

⑦ 染色体・遺伝子部門

染色体検査、病原体遺伝子検査、ヒト体細胞遺伝子検査、ヒト遺伝子学的検査等に関する学術的事業

⑧ 臨床生理部門

神経生理学的検査、循環・呼吸生理学的検査、画像診断学的検査等に関する学術的事業

⑨ 臨床検査総合部門

公衆衛生、生殖医療、臨床病態、医療情報、検査室組織管理、医療機器管理等に関する学術的事業

〈日臨技中部圏支部医学検査学会〉

(第53回) 富山県担当 平成26年9月27・28日開催

(第54回) 静岡県担当 平成27年9月26・27日開催

公益社団法人愛知県臨床検査技師会 平成26年度定時総会開催報告

副会長 藤田 孝

去る6月28日(土)午後3時00分から4時40分まで栄ガスビル501会議室において公益社団法人愛知県臨床検査技師会平成26年度定時総会が開催されました。はじめに松本会長より、公益社団法人としての初年度事業についてご審議いただくこと、「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」など日臨技を含めた現在の情勢についての報告を含めた挨拶がありました。次いで議長に堀出剛氏、総会運営規程に基づき書記、資格審査委員兼議事運営委員、議事録署名人が選出され、資格審査委員長から正会員数2,808名(過半数1,404名)のところ出席者数120名、委任状出席1,984名の合計2,104名の出席があり、総会が成立していることが宣言され議案審議へと進みました。審議事項として、第1号議案「平成25年度事業報告」、第2号議案「平成25年度決算報告」、第3号議案「平成25年度監査報告」、第4号議案「平成26・27年度役員選任について」の各議案ともに賛成多数で承認されました。審議事項に引き続き、報告事項として、「平成26年度事業計画」、「平成26年度収支予算」についての報告とともに、本総会をもって退任される松本祐之会長を顧問として選任することが報告されました。

総会に引き続き、愛知県健康福祉部保健医療局長の加藤昌弘氏(代読:健康福祉部保健医療局生活衛生課主幹住野昌幸氏)を来賓としてお迎えし、ご挨拶いただいた後、第14回愛知県医学検査学会学術奨励賞、永年職務精励者の表彰式が執り行われました。学術奨励賞は豊田厚生病院の酒巻尚子氏、愛知医科大学病院の黒田康子氏、小牧市民病院の岩田晃裕氏の3氏が受賞され、永年職務精励者は49名が受賞されました。おめでとうございます。



総会風景



来賓挨拶



学術奨励賞

平成26年度 新人サポート研修会報告

副会長 所 嘉朗

平成26年度新人サポート研修会が、梅雨の真っただなかの6月21日(土)と22日(日)の両日、中部大学生命健康科学部55号館講義室において開催されました。テーマは例年通り「緊急および日当直に役立つ臨床検査の知識と技術」で、新人、今年度から業務担当が代わった技師あるいはもう一度基礎を学びたい技師などを対象としました。参加者は2日間で延べ384名、内訳は21日が198名、22日が186名で会員が277名、非会員が87名、学生は20名でした。非会員はほぼ今年度会員申請中の新人と思われます。

講義は生物化学分析検査、血液検査、生理検査、一般検査、輸血検査、病理検査の6研究班を中心とし、医療従事者に必要な接遇基礎や技師会を知っていただくための臨床検査技師会活動の紹介もプログラムに入れました。22日(日)の昼食の時間帯はロシュ・ダイアグノスティックス株式会社からは「甲状腺疾患と臨床検査」、ラジオメーター株式会社からは「緊急時の血液ガス分析」、シスメックス株式会社からは「薬物中毒検出用キットの性能と活用方法」、デンカ生研株式会社からは「陰性?陽性? - 結果判定に苦慮するPOCT-」の4つのランチオンセミナーを企画しました。一方的な講義とならないために、赤と青カードを配布して講演内容に関する質問を織り交ぜ、受講者に積極的に参加していただく工夫もしました。

今回でこの研修会は6回目となり内容は徐々に充実してきましたが、参加者からのアンケートではプレゼンの仕方に対するご意見などもありました。今後、これらの課題を学術部門で検討し、よりよい研修会としていきます。ご期待ください。

新人サポート研修会に参加して

安城更生病院 臨床検査技術科 河合 涼

二日間にわたって開催された新人サポート研修会では、日当直に関連したスキル取得を目的に勉強しました。昨年に続いて二回目の参加になりますが、病理細胞検査研究班が新たに加わり、日当直時の病理検体の取り扱いについて講義していただきました。昨年も講義していただいた研究班では、基礎的な内容から実際のデータの見方や臨床への報告で注意すべき点など、二択問題を織り交ぜながら勉強しました。二択問題は復習しながら学ぶことができるため記憶に残りやすく、昨年と同じような内容の問題では迷うことなく解答することができました。しかし普段携わっていない分野では記憶が薄れている部分も少なからずありました。そのため、もう一度基礎から学んでいく必要のある分野を再認識することができました。今回学んだことを活かし、どの領域の検査に対しても不安なく対応できるよう、日当直に臨みたいと思います。



新人教育(サポート)研修に参加して

独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院
塚本 大輔

この度行われた新人教育(サポート)研修では、6月21日、22日の2日に亘り検体の取扱いや、結果報告時の注意点等当直者の業務内容についてを中心に講義していただきました。

各分野ごとに最前線で活躍されている検査技師の方から、当直時に行う検査の概要等の基本事項及びデータの見方や注意事項を説明していただき、各講

義の最後には実際に起こった状況に対しての2択問題が提示され、講義内容を思い出しながら回答することでしっかりと記憶に残すことができました。また、22日には医療従事者の接遇に関する講義があり、周囲の人とグループを作って互いに表情や喋り口調、言葉遣いを確認し合うことで、患者様に対してどのように接すると良いのかを学ぶことができました。

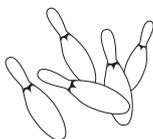
この研修会で学んだ基礎知識を今後の検査業務に活かし、より多くの経験を積み、臨床検査技師としての自分を成長させていきたいと考えます。

第37回愛臨技スポーツ大会開催のお知らせ

組織部

今年度もスポーツ大会(ボウリング大会)を開催いたします。大会は例年通り地区チーム、研究班チーム、賛助会員チームでの競技を考えております。チーム編成については下記を参照ください。その後の懇親会への参加もお願いいたします。

★ボウリング大会



日時：平成26年10月25日(土)
15:00～17:30(表彰式を含む)
場所：スポーツ名古屋
〒460-0007 名古屋市中区栄2-45-26
電話：052-261-3111
参加費：1,000円(2ゲーム代・飲物代・靴代・賞品代含む)
チーム編成：各地区、学術部研究班、賛助会員各5名以上(女性2名以上を含む)
参加申込方法：施設に配布しました参加申し込み票に記載の上、施設連絡者を通じて各地区理事へお申込みください。学術部については各班長が取りまとめください。
締切日：平成26年10月3日(金)
大会要綱：ゲーム数は1名2ゲーム
<団体戦>各地区、学術部研究班、賛助会員の上位5名(男性3名・女性2名)だけの合計点数

<個人戦>2ゲームの合計点数(男女別)
賞品：団体戦 上位3チーム
個人戦 男女各上位3名・飛び賞・ブービー賞などの賞品

★懇親会

日時：平成26年10月25日(土)
18:00～19:30まで
場所：サッポロビール名古屋ビール園
浩養園 2階 レストラン
(元サッポロビール隣)
〒464-0858 名古屋市中区千種2-24-10
電話：052-741-0211
参加費：3,600円
参加申込方法：ボウリング大会同様
締切日：ボウリング大会同様
*懇親会のみ参加もOKです。ぜひご参加ください。

問い合わせ先：愛臨技 組織部 岩尾 文彦
名古屋医療センター 臨床検査部
電話：052-951-1111
ファックス：052-951-0664
E-mail：kensaboss@nnh.hosp.go.jp

独立行政法人国立長寿医療研究センターは、昭和13年国立愛知療養所として創設し、国立療養所中部病院を経て、平成22年に全国に6つあるナショナルセンターの1つとして、開設しました。

当センターにはもの忘れセンターという認知症に特化した診療科があり、病院と研究所が一体となって治療、原因究明に努めています。私たち臨床検査部もそのサポート的役割として採血や血液検査などを担っています。

臨床検査部は病院外来棟2階にあり、輸血、検体、細菌、病理、生理、採血室、高度先進検査室からなっており、技師21名で稼働しています。

検査部の朝は早く、8時より早朝採血を実施しています。検査の為に絶食で来院される患者様や、臨床側からとても好評をいただいております。

8:25からのミーティングでは、各部署から技師



が全員集合し、連絡事項などの情報交換を行っています。また、「笑顔の当番」というコーナーがあり、日替わりで技師が笑顔になれる一言を披露しています。ここで、笑顔になることにより、スタッフ同士親睦を深め、日々明るく元気に取り組んでいます。

愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内 東海地区分析研究会講演会

専門教科：20点

日時：平成26年10月17日(金) 18:30～20:30

場所：名古屋マリOTTアソシアホテル 16階

会費：¥500 (会場費として当日受付にて)

講演 I：「院内感染対策の一環としての針刺し・切創対策」

～脅威に対し臨床検査技師はどのようにかかわるべきか～

小牧市民病院先生 上田 知仁 先生

講演 II：「iPS細胞を用いた慢性腎臓病と糖尿病に対する再生医療開発に向けた研究」

京都大学iPS細胞研究所 長船 健二先生

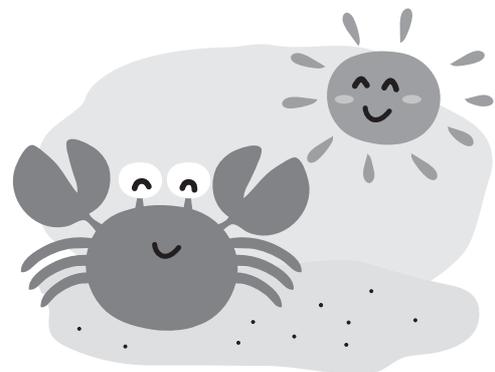
司会：LSIメディエンス株式会社

木澤 仙次 先生

内容：講演 I では臨床検査技師による採血業務の増加に伴い、安全対策を主体的かつ断続的に構築する必要性について、事例報告のデータ分析からご講演いただきます。

講演 II ではヒトiPS細胞から腎細胞と膵細胞への分化誘導法開発に関する研究結果と慢性腎臓病と糖尿病に対する再生医療開発の現状と展望についてご講演いただきます。

共 催：東海地区分析研究会 協和メデックス株式会社



第51回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：糖尿病POCT機器を使ってみよう！
日時：平成26年9月7日(日) 13:00～16:20
場所：名古屋大学医学部附属病院 3階講堂
一般講演13:05～14:05

司会：岡崎市民病院 高山千恵美
「POCT機器を理解しよう」

刈谷豊田総合病院 臨床検査科 吉田 光徳
「糖尿病POCT機器の特徴と性能」

刈谷豊田総合病院 高浜分院 医療技術科
安田 誠

実習14:15～16:15
「糖尿病POCT機器を使ってみよう」

進行：大同病院 臨床検査部 渡辺 美加

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、
その他参加者1,000円



基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点
日時：平成26年10月19日(日) 10:00～16:00
場所：刈谷豊田総合病院 診療棟5階
第1-2会議室
刈谷市住吉町5丁目15

テーマ：心腎連関について考える

講師：1. 心不全マーカー
半田市医師会健康管理センター
青木 岳史

2. 腎障害におけるバイオマーカー
藤田保健衛生大学病院 西垣 亮

3. 心腎連関とCKD
聖霊会 聖霊病院 松山 純也

4. POCTの精度管理とPOCTコーディネーターの役割

ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
LCM部門 薬師寺小百合

5. Reversed-CPC
藤田保健衛生大学病院医学部
臨床検査科 成瀬 寛之

司会：公立陶生病院 位田 陽史
藤田保健衛生大学病院 齊藤 翠

内容：近年、心腎連関といった概念が注目されていますが、心臓と腎臓の密接な関わりについて、解りやすく解説します。

定員：80名 参加費：1,000円

申込方法：①会員番号 ②氏名 ③施設名 ④所属
⑤連絡先 (TEL、FAX) ⑥生化学免疫検査経験年数を記載のうえ、Eメールにてお申込み下さい。

(件名は必ず「基礎講座事前申し込み」として下さい。)

申込先：安城更生病院 臨床検査技術科
鈴木 美穂

(mihosuzuki@kosei.anjo.aichi.jp)

連絡先 0566-75-2111

申込期限：平成26年9月19日(金)

但し、定員になり次第締め切ります。

*申込の受領および詳細については、9月24日までにEメールで連絡いたします。なお、昼食は各自でご用意下さい。

基礎講座

病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年10月19日(日) 9:30～16:00

場所：名古屋大学保健学科
本館3階検査第1実習室
名古屋市東区大幸南1-1-20

テーマ：「包埋・薄切」

- 講師：1) ミクロトーム・薄切に関して
大和光機工業株式会社 営業部 鈴木 要
- 2) ミクロトーム替刃の有効な使い方
フェザー安全剃刀株式会社 座間 正一
- 3) 包埋について
市立小田原病院 磯崎 勝
- 4) 凍結標本作製について
藤田保健衛生大学病院 平澤 浩
- 5) 薄切実習

司会：西尾市民病院 中村 広基

内容：今回の基礎講座は、日常疑問に思うことも多い、薄切と包埋をテーマに取り上げました。ミクロトームの使い方やメンテナンスなどの初歩的なことから、科学的観点からみた包埋技術まで幅広い内容を企画しました。午後からは復習を兼ねて実際に薄切をして頂きます。明日からすぐに使える内容となっておりますので、新人からベテランまで多数の参加をお待ちしております。

定員：40名

参加費：3000円

申し込み：詳細はHPに載せておりますので、ご参照ください。

基礎講座

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年10月26日(日) 9:00～17:00

場所：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟

テーマ：『これであなともStep up!! 明日から使える同定検査 呼吸器材料編』

対象者：微生物経験年数5年程度までを目安とします。

担当：江南厚生病院 河内 誠
名古屋第二赤十字病院 原 祐樹
刈谷豊田総合病院 犬飼ともみ
愛臨技微生物検査研究班 班員

内容：「呼吸器関連材料の同定検査」をテーマに日常業務でよく遭遇する菌の同定にはじまり、マイコプラズマ、レジオネラといった非定型病原体に対するアプローチまで充実した内容を企画しました。日常では稀なCAMP試験や”嵐の発酵”をはじめとした検査法の閲覧・解説や最新の微生物検査関連機器の展示・紹介なども予定しております。参加いただいたみなさんのStep upで即座に自施設の業務に寄与できる内容でみなさんの参加を心よりお待ちしております。

定員：30名程度 受付先着順（※定員を超えた場合は調整させていただき、後日申し込まれた方全員に詳細をe-mailにてご連絡いたします）

参加費：3,000円を当日徴収します
(県外会員：3,500円、非会員：4,000円)

申込：愛臨技微生物検査研究班ホームページにて必要事項を記入し、お申し込み下さい。
(<http://www.aichi-amt.or.jp/labo/microbio/index.html>)

申込期間：平成26年9月23日～10月10日

問合せ先：刈谷豊田総合病院 犬飼ともみ
e-mail: tomomi.inukai@toyota-kai.or.jp

研究会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年9月6日(土) 15:30～18:00

場所：名城病院 地下大会議室

テーマ：『届け出感染症に立ち向かう

～三類感染症を中心に～』

講演：

1. 届け出感染症の発生状況と公的機関から見えた課題

岡崎市保健所

中根 邦彦

2. 大学病院における分子疫学的検査法からのアプローチ

愛知医科大学病院

坂梨 大輔

3. 三類感染症の検出はあなた次第！

小牧市民病院

宮木 祐輝

司会：刈谷豊田総合病院

藏前 仁

研究会

血液検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年9月20日(土) 15:00～17:00

場所：スズケン名古屋支店 2F会議室

テーマ：フローサイトメトリーの基礎知識

講師：バックマン・コールター株式会社学術部

清水 宏伸

司会：愛知県がんセンター中央病院

田中 里枝

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

原稿募集

会員の皆様の原稿を募集しています。
写真、豆知識、コーヒーブレイクなど
ジャンルを問いません。
愛臨技事務所へメールでお送りください。



※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。

平成26年7月10日現在 会員数2,827名

平成26・27年度
公益社団法人愛知県臨床検査技師会
役員



会長 栢山広美



副会長(総務部門) 藤田 孝



副会長(学術部門) 所 嘉朗



副会長(渉外部門) 中井規隆



理事(庶務部長) 夏目久美子



理事(会計部長) 森田秀夫



理事(学術部長) 滝野 寿



理事(精度管理事業部長) 鈴木博子



理事(組織部長) 岩尾文彦



理事(広報部長) 山田 真



理事(会計担当) 吉子健一



理事(標準化担当) 内田一豊



理事(精度管理事業担当) 佐野俊一



理事(学術担当) 赤座久美子



理事(尾張西) 江崎吉美



理事(尾張北) 大野則仁



理事(尾張東) 早川 登



理事(尾張南) 藤原宗孝



理事(知多) 粕谷法仁



理事(西三河) 迫 欣二



理事(東三河) 雪吹克己



監事 岸 孝彦



監事 山崎正夫



顧問 松本祐之